

## 通信講座 《仕事につながる 訳文ブラッシュアップ講座》

一人ひとりの訳文のよいところを生かし、問題点を明確にしながら、書籍に通用する日本語の文章に仕上げていく講座です。

訳文には翻訳者の個性が出ます。長所も弱点も人によって違います。本講座では、あらかじめ用意した訳例にしたがって添削するのではなく、「書籍翻訳として通用するクオリティ」と「翻訳者の個性」の両方をそなえた訳文を受講者とともに作りあげていきます。

各コースとも、3つの課題をそれぞれ2回提出していただき、1つの課題につき2回（計6回）添削してお戻しします。

コース ① 英語フィクションコース ② 英語ノンフィクションコース  
③ 仏語フィクションコース ④ 仏語ノンフィクションコース

受講料 各コース 36,000 円 (税込 38,880円)

\* 2コースを同時にお申し込みの場合は 68,000 円 (税込 73,440円)

\* 3コース以上を同時にお申し込みの場合も受講料の割引があります。

割引額については事務局にお問い合わせください。

定員 ① 20名 ② 20名 ③ 10名 ④ 10名

募集 2016年8月13日(土)～9月12日(月)

### ■ 本講座の特徴

#### \* 一人ひとりの訳文の問題点をあらゆる角度から徹底的に指摘します

最初に提出された訳文に対して、誤訳や文体の癖、訳語の選択から、訳注や漢字かなづかいの表記、書式にいたるまで、それぞれの問題点を徹底的に指摘します（一回目の添削）。

#### \* 受講者とともに、持ち味を生かして個性を尊重した完成訳文に仕上げていきます

一回目の添削の指摘をもとに訳文をブラッシュアップして、もう一度提出していただきます。今度は訳文そのものをリライトしてお戻しします（二回目の添削）。

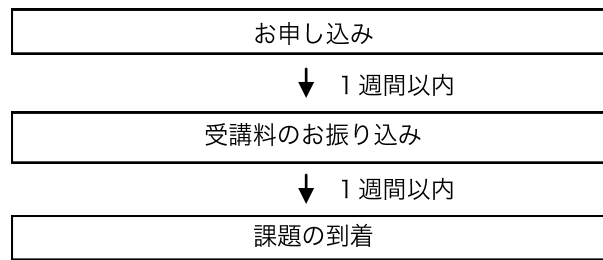
#### \* 1コースにつき、5つの課題から3つを選択 × 添削2回 = 計6回の添削

興味のある分野から課題を選べ、6回の添削で翻訳力が確実にアップします。

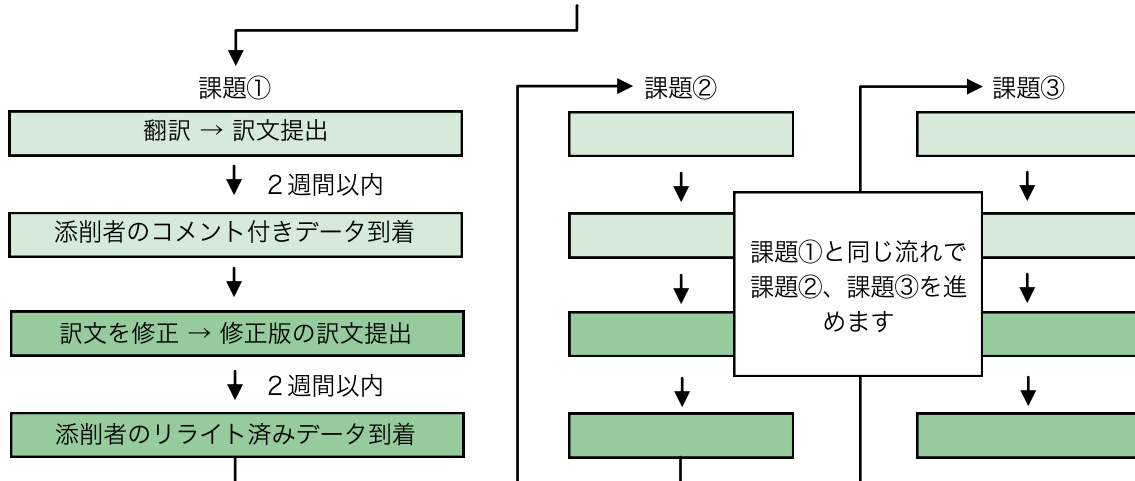
#### \* 優秀な受講者には、実際に弊社から書籍翻訳を依頼します

フィクション、ノンフィクションコースとも、さまざまなジャンルの課題が用意されているので、自分がどのジャンルに向いているかも明らかになります。優秀な受講者には、弊社から書籍翻訳を依頼することがあります。

## ■ 受講の流れ



1コースにつき5つの課題をお届けしますので、そのなかから3つを選んで訳文を提出してください。3つの課題の訳文はどの順番で提出してもかまいません。



- \* 課題文は、訳しあがりかA4（40文字×36行）で2枚弱程度の分量です。
- \* 課題の到着日から1年以内であれば、いつ提出してもかまいません。課題ごとの提出期限はとくに設けません。
- \* 課題は1点ずつ順番に提出してください。
- \* 添削は山本知子（リベル代表・翻訳家）と染田屋茂（フリーランス編集者・翻訳家）を中心にリベル翻訳講座のスタッフがおこないます。

## ■ お申し込みの流れ

- 1) 下記のURL（弊社ホームページ）からお申し込みください。
- 2) 事務局よりメールにて、受講料の納入方法をご案内します。
- 3) 受講料をお振り込みください。
- 4) 入金確認後、メール添付にて課題をお送りします。

お申し込み <http://liber-ltd.com/>  
お問い合わせ <http://liber-ltd.com/contact>

---

株式会社リベル **LIBER**  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前 5-38-10 神宮前井門301  
Tel:03-5468-3521 Fax:03-5468-3522  
<http://liber-ltd.com/>

## ■ 一回目の添削の例（フィクション）

ステイーブは寝取られ、プライドを傷つけられた客を喚ぎわける天性の才能もっている。この嗅覚のおかげで財を成したのだ。これ見よがしに金を見せようとしないう彼の家の様子が、依頼人の信頼を得て話をうちあげやすくするのだろう。シンプルすぎてかえって目立つ家具、会話の端々ににじませる徹底した禁欲的な様子も役に立っていた。これは彼が日常的に瞑想を繰り返していることで得られた気質だ。ステイーブはいつも依頼人を足の低いテーブルが置かれている畳の部屋に通し、茶をたてる。畳のまわりには天井まで竹林が生えている。壁の風呂桶よりも大きい水槽からは、魚と澄んだ水の反射で虹色の光が跳んでいるのだった。

ステイーブが慎ましやかで踏みこんだ質問をしてこないのいいことに、ジェイソンは最上階まで続く階段の螺旋を登った。途中、一枚の絵の前を通り過ぎる。絵の中の顔の陰鬱とした美しさが印象に残った。たどり着いた四階の天井は斜めのガラス窓になっている。ステイーブにならって畳にあぐらをかこうとしたが、何度やっても間接が曲がってくれず、少し力を抜くとバネの反動のように横へ投げ出された。結局ジェイソンは妥協して、およそ優雅とは言えないがそれなりに座禅に近い形で腰を下ろし、炭と雨の香りのする茶が入った熱い茶碗に口をつけた。水槽がふりまく泡の深淵な空気の中、ジェイソンはここへ来た理由を手短かに説明した。

話を聞いてもステイーブに驚いた様子はなかった。ジェイソンが死ぬまで離婚を繰り返す定めなのを知ってかとも思ったが、どうやら朝のうちにジェイソンの妻の弁護士、ネスマン女史から電話がかかってきたらしい。彼女とは仕事で面識があり、明日会うことになったそうだ。彼いわく、仕事ができて信頼のおける女性で、ジェイソンが抱えている条件を見たら、強情な彼女も柔軟になるだろうとのことだった。ジェイソンは大きな音をたてて茶をすすり味わい、おかわりをもらおうと机の上に手をさしだした。注がれると火傷したと口に出して、すぐに湯気をたてている茶碗を置いた。そしてまるで瞑想にふけっている坊主のように話を聞いていたステイーブに切り出した。ピオ・ダイバー・シー社の売り上げがどれぐらいになりそうか、と。ピオ・ダイバー・シーとはジェイソンが初めて離婚した時に、訴訟資金の足しにしようとしたあげた海洋レジャーの会社だ。ステイーブは愛想よく頷いた。株を売れば未払い分は返せるだろうと言うと、彼の興味は離婚理由の方に移った。

ジェイソンは毎回離婚するたびに新たな女を見つけてきた。結婚してもいいと思う金持ちで、ジェイソンのことを寛大に許せるほど惚れている女、結婚したての夫の借金の利息を返済してくれる女。ジェイソンの借金はピオ・ダイバー・シー社の収益が減っていることで支払いが厳しく、大部分が残っていた。この単純な計算の結果、ジェイソンは常に借金を抱えていた。返す一方で、結婚のたびに負債が増えるという繰り返し。一文無しにな

コメント [A1]: 「金を見せようとしないう」がわかりにくいです。意識してください

コメント [A2]: 前文の説明なので「気質」という言葉はそぐいません

コメント [A3]: 室内なので、「竹林が生える」ではおかしいのでは？

コメント [A4]: どこにかかるか、わかりにくいです

コメント [A5]: 魚がどうなっているか、もう一度原文を見直してください

コメント [A6]: 半角アキになっています

コメント [A7]: 階段なので「上った」に

コメント [A8]: 誤字

コメント [A9]: どういう状態か考えて意識してください

コメント [A10]: ここは体勢の話をしています

コメント [A11]: わかりにくいです

コメント [A12]: この段落、「…した」が繰り返されて単調なので、現在形も入れてみてください

コメント [A13]: 「思った」の主語は？

コメント [A14]: 誰が？

コメント [A15]: もっと自然な表現に

コメント [A16]: 直訳調です

コメント [A17]: parts の訳に注意

コメント [A18]: 漢字多いのでひらがなに

コメント [A19]: action の意味を考えて正確に訳しましょう

コメント [A20]: 「この」は何を指す？

◎ 一回目の添削の例です（一部抜粋）。

Wordファイルで提出していただいた訳文にコメントをつけてお戻しします。

◎ 実際の課題の分量は、この添削例の2倍程度になります。

◎ 最後に全体の講評がつきます。

### 【講評】（抜粋）

全体的にこの作品の雰囲気にあった訳文になっています。漢字かなづかいもだいたいOKです。コメントをつけた部分は、前置詞などの文法や細かいところを見直してみましよう。また、主語が誰かわからないところがあります。そういった点に気をつけて修正し、もう一度提出してください。

## ■ 二回目の添削の例（フィクション）

ステイブは、寝取られて、プライドを傷つけられた客を喚ぎわける天性の才能をもっている。この嗅覚のおかげで財を成したといってもいい。これ見よがしな成金趣味ではないに金を見せびらかさない彼の家の様子が、依頼人の信頼を得て話をうちあげやすくするのだろう。シンプルすぎてかえって目立つ家具、会話の端々ににじませる徹底した禁欲的な雰囲気も一役買っていた。これは彼が日常的に瞑想を繰り返すことで身につけたものだ。ステイブはいつも、依頼人を足の低いテーブルが置かれている畳の部屋に依頼人を通して、茶を出すてる。畳が敷かれ、天井までの高さの竹に囲まれた部屋だのまわりには天井まで届くほどの高さの竹が立てられている。壁際に置かれたバスタブ風呂桶よりも大きい水槽が壁ぎわに置かれからは、魚が一匹もない水の反射で紅色の光が部屋をきらきらと輝かせているが散っていた。

ステイブが礼儀正しさを気取って横身やかで踏みこんだ質問をしてこないステイブに続いてのをいいことに、ジェイソンは最上階まで続く階段の螺旋を上った。途中、一枚の絵の前を通り過ぎる。絵の中の顔の陰鬱とした美しさにははっとしたが印象に残った。ようやくたどり着いた四階の天井は斜めのガラス窓になっている。ジェイソンは、ステイブにならって畳にあぐらをかこうとしたが、何度やっても関節が痛くなり曲がってくねず、バネ仕掛けのように重心を反対側に移して楽になろうとしたのように足が横へ逃げでしまう。結局ジェイソンは前屈みになって、おおよそ優雅とは言えないがそれなりに座禅に近い形で腰を下ろし、炭と雨の香りのする茶が入った熱い茶碗に口をつけた。水槽から立ちのぼる泡が深遠な深淵な雰囲気を出し出す中、ジェイソンはここへ来た理由を手短かに説明する。

話を聞いてもステイブに驚いた様子はなかった。ジェイソンが死ぬまで離婚を繰り返す定めだと知っているからではなく、どうやら朝のうちにジェイソンの妻の弁護士、ネスマン女史から電話がかかってきたらしい。女史とステイブは仕事で何度かいっしょに仕事をしたこと無識があり、明日会うことになったというそうだ。彼いわく、仕事でできて信頼のおける女性で、ジェイソンが抱えている条件を見たら、最悪な頑固者の強情な彼女も少しは歩み寄ってくれる柔軟な姿勢になるだろうとのことだった。ジェイソンは大きな音をたてて茶をすすり、おかわりをもらおうと机の上に手をさしだした。だが注がれた茶があまりに熱いので、注がれると、熱いと文句を言いながら慌てて湯気のたつたをたてている茶碗茶碗を置いた。そしてまるで瞑想にふけている僧侶坊主のように話を聞いていたステイブに切り出した。まずは、今自分が持っているピオ・ダイバー・シー社の株をすべて売るとどれぐらいになりそうか、とその金額を告げる。ピオ・ダイバー・シーとは、ジェイソンが初めて離婚した時に訴訟資金の足しにしようとしたちあげた海洋レジャーの会社だ。ステイブは愛想よくうなずき、株を売ってもれば前回の離婚の慰謝料の未払い分と利子を払ったら何も残らないと言ったうぐらいにはなるだろうと言った。

ジェイソンは毎回離婚するたびに新たな女を見つけてきた。結婚してもいいと思う金持ちで、ジェイソンのことを寛大に許せるほど惚れている女、結婚したての夫の借金の利息

コメント [A1]: 読点の位置を変えました

コメント [A2]: これぐらい意識しましょう

コメント [A3]: 2行前にも「様子」があるので言葉を変えました

コメント [A4]: 「足の」は不要です

コメント [A5]: 原文どおり関係代名詞を下から訳すとまわりくどくなるので、こうした工夫をしてみましょう

コメント [A6]: 修正 OK です

コメント [A7]: projette dans la piece les reflets...を正確に訳すようになります

コメント [A8]: 原文どおり訳すと「バネのように片方に自分の体重をあずけた」となります

コメント [A9]: 修正 OK です

コメント [A10]: la pire tete はもっと強い表現です

コメント [A11]: 西洋が舞台なので「僧侶」にしました

コメント [A12]: 原文「ちょうどそれをカバーできる金額だろう」なので、もとの訳文でも間違いではないですが、ニュアンスとしてはこちらではないかと思えます

### ◎ 二回目の添削の例です（一部抜粋）。

Wordファイルで提出していただいた訳文をリライトしてお戻しします。

### ◎ 実際の課題の分量は、この添削例の2倍程度になります。

### ◎ 最後に全体の講評がつきます。

#### 【講評】（抜粋）

誤訳部分がかなり正確に修正されていました。それでもまだ十分な訳文になっていないところは、自分がその状況だったらどうするだろうとその人物になりきって想像するといと思います。

また、コメント3の箇所のように同じ言葉を繰り返すのはなるべく避けましょう。

全体的に語彙も豊富で文章もうまいです。あとはもう一段、原文を丁寧にみて一語一語が適語かどうかをチェックすることと、訳しにくい部分をあらかじめ徹底的に考えることが必要です。その文章だけでなく、前後の文や段落全体を何度も読み直すことで、著者が何を言いたいがわかることも多いです。